

## 平成18年度 千葉県自閉症協会活動報告

### 全般的活動（会長：大屋）

平成18年6月3日、17の地区会が発起人となり、設立総会を開催しました。障害者自立支援法により、自閉症を含む障害者福祉の仕組みが変わるとともに、地方行政の役割が大きくなっています。発達障害者支援法に基づく施策や特別支援教育も推進されています。千葉県自閉症協会は、千葉県全体の福祉行政に積極的に関与するとともに、各市町村での活動に対応可能な組織の充実を目指しています。

以下、千葉県自閉症協会として行った活動を列記します。

#### 1. 千葉県に要望書を提出しました。

- 1) 平成18年7月18日、堂本暁子千葉県知事に、知的障害関係5団体で「自立支援法緊急要望書」を提出しました。
- 2) 平成18年12月21日、堂本暁子千葉県知事に、千葉県における自閉症支援に関して13項目、8頁の要望書を提出しました。
- 3) 平成18年12月21日、千葉県教育委員会に、「千葉県特別支援教育推進基本計画（仮称）骨子案」に対する、9項目、6頁の要望書を提出しました。

#### 2. 千葉県、及び千葉市の委員会等に委員として、下記の役員が参加しました。

第三次千葉県障害者計画推進作業部会 大屋 滋  
障害者差別をなくすための研究会 佐藤 彰一  
千葉県障害のある人の相談に関する調整委員会 古屋 道夫  
千葉県発達障害者支援センター連絡協議会 大屋 滋  
千葉県発達障害者支援体制整備検討委員会 大屋 滋  
千葉県発達障害者支援システム検討作業部会 大屋 滋  
千葉県人権施策推進委員会 大屋 滋  
袖ヶ浦福祉センター強度行動障害入退所審査等審議会 大屋 滋  
千葉県広域特別支援連携協議会 大屋 滋  
千葉市発達障害者支援体制整備検討委員会 大屋滋、菊池裕美

#### 3. 自立支援法、発達障害者支援法、特別支援教育に関連した提言、要望、調査を行いました。

- 1) 千葉県議会議員選挙（平成19年4月8日投票）に際し、候補者に対して公開質問状を提出し、結果をホームページに掲載しました。
- 2) 18年11月～12月に全会員を対象とした「障害者自立支援法実施状況に関するアンケート調査」を行いました。
- 3) 19年3月に千葉県が行った「発達障害のある方とご家族への支援体制整備にかかわる要望調査」に全面的に協力しました。
- 4) 千葉県障害福祉計画（案）パブリックコメント募集に対して、意見書を提出しました。
- 5) 千葉県教育委員会が「小・中学校における個別の教育支援計画作成の手引き」を作成する過程で、意見書を提出しました。
- 6) 「千葉県特別支援教育推進基本計画（仮称）骨子案」に関するタウンミーティングに、主体的に参加しました。

#### 4. 「障害のある人もない人も共に暮らしやすい千葉県づくり条例」の成立に向けて積極的に活動しました。タウンミーティングへの協力や地域の県議会議員に対して説明と要望を行いました。

#### 5. 平成19年3月6日、自閉症に関する講演会を、千葉県発達障害者支援センター、千葉県医師会、千

千葉県歯科医師会と共催しました。

6. 千葉県内の大会などに講師等として参画しました。

千葉県特別支援教育連盟大会、千葉県歯科医師会特殊歯科保健委員会講習会等。

7. 全国規模の催しに、講師や運営スタッフとして参画しました。

自閉症カンファレンス・ニッポン、全日本手をつなぐ育成会全国大会、日本児童青年精神医学会総会、国立精神・神経センター発達障害支援研修会、アメニティー・ネットワーク・フォーラム等。

8. 各地区会との緊密な連携を行い、千葉県自閉症協会の運営を行いました。

1) 1、2ヶ月に1回の頻度で、理事会を開催しました。

2) 役員メーリングリストを活用して、迅速な情報と意見交換を行いました。

3) 会員宛のニュースレターNo.29を発行しました。

## 各部局活動

### 事務局（事務局長：北尾）

1. 自立支援法実施状況アンケート

10月の自立支援法本格実施を受け、地区自閉症協会会員全員に対し自立支援法の施行による影響につきアンケート調査を実施し、525名からの回答を取りまとめ分析の上、会員全員に配布しました。回答の分析結果詳細は資料1の通り。

2. 統一地方選挙取り組み

4月8日の千葉県議会議員選挙の立候補予定者105名に対し、「自閉症児者に対する千葉県障害者福祉のあるべき姿に関する公開質問状」を送付し、63名から回答を受け、3月29日に当協会ホームページに開示しました。公開質問状では、①障害者支援サービス、②障害者教育、③障害のある人も無い人も共に暮らしやすい千葉県づくり条例、④障害者就労、⑤自閉症に対する理解と支援の各項目につき立候補予定者の考えを求め、会員および支援者の投票に当たっての参考情報を提供しました。回答結果は資料2の通り。

3. 千葉県障害福祉計画対応

千葉県が策定した障害福祉計画案のパブリックコメントに対し、自立支援法実施状況アンケートの結果を踏まえ意見書を提出しました。

4. 地区自閉症協会支援

地区自閉症協会の活動活性化と業容拡大に向け、先進地区自閉症協会の好取組事例の発表会を企画し、5月27日に柏市協会のNPO法人自閉症サポートセンターの活動報告等を実施する予定です。

5. 「発達障害に対する地域社会の人たちの心のバリアフリー推進事業」

社団法人日本自閉症協会本部から千葉県支部を通じた掲題に関するアンケート調査用紙の配布協力の要請を受け、地区自閉症協会を通じて120部のアンケートを配布しました。

6. 平成18年度JR東日本労組“親子列車の旅プレゼント”参加

当初15組30名の招待枠でしたが、前年を超える多くの申し込みに対し、同労組木村委員長の取り計らいで、10地区自閉症協会23組46名の親子が参加でき、安房鴨川まで“まぼろしの国鉄色183系特別急行列車の旅”を堪能しました。

### 総務部（部長：矢作）

1. 各地区自閉症協会会員の入・退会・訂正受付業務と入会金の管理を実施しました。

2. 千葉県自閉症協会団体会員・支援会員の入退会業務と会員への連絡を実施しました。

3. 各種問い合わせ資料や入会申し込み書の送付依頼に対応しました。

4. 個人情報保護法の施行に伴い、会員団体の個人情報管理を行いました。

### 広報部（部長：朝倉）

1. 広報誌「みち」の発行

千葉県支部からの委託を受け、「みち」71号を平成19年2月に発行しました。

2. 千葉県支部からの委託を受け、県支部のホームページ、メーリングリストを運営しました。

### 事業部（部長：野澤）

1. 日本児童青年精神医学会タイアップ研修会を日本自閉症協会・研究部会からの委託を受け、千葉県発達障害者支援センター（CAS）の共催、日本自転車振興会の助成金により開催しました。

平成18年10月21日

#### 第一部 講演

「自閉症児・者の二次的困難を予防・治療するためのアプローチ」

講師 京都大学 医学部保健学科 教授 十一 元三 先生

#### 第二部 シンポジウム

「自閉症児者への社会教育支援的なアプローチ」

シンポジスト 京都大学 医学部保健学科 教授 十一 元三 先生

順天堂大学 スポーツ健康科学部助教授 田中 純夫 先生

植草学園短期大学 福祉学科 助教授 佐藤 慎二 先生

2. 自閉症児支援セミナーを千葉県発達障害者支援センター（CAS）の共催により開催しました。

平成19年2月25日

「自閉症の人たちと歯科治療/コミュニケーションが困難な自閉症児者の歯科治療へのアプローチ」

講師 日本大学松戸歯学部 障害者歯科学講座 歯科医 伊藤政之 先生

### Will クラブ事業部（部長：坂本）

1. 講演会

・平成18年6月10日（日）

「一人一人に適した個別指導計画 ―基本と、親や学校における具体的支援について―」

CAS共催 講師 リソースセンターONE 代表 上原 芳枝先生

・平成18年9月10日

「特別支援教育から職業への移行をめぐる課題」 CAS共催

講師 茨城大学 教授 東條 吉邦先生

シンポジウム シンポジスト 千葉障害者就業支援キャリアセンター センター長 藤尾健二氏、県立養護学校流山高等学園 平賀 博巳氏、障害者職業総合センター 中島 純一氏、企業 オートシ製菓 吉田弘子氏

2. 見学会

・平成18年10月3日

株式会社 舞浜ビジネスサービス（オリエンタルランドの特例子会社）

3. 親子の旅

・平成18年12月2,3日

もちつきキャンプ 手賀の丘少年自然の家

4. 座談会

・平成18年12月10日

「障害児の兄弟・姉妹の気持ち」

5. レクリエーション

・レッツゴークラブ 隔月 小学校高学年以上 本人による企画

・女の子限定 隔月 小学校高学年以上 本人による企画

6. 定例会 毎月

以上